

# いちご「とちおとめ」の定植時期と窒素の葉面散布の影響

## 1. 試験のねらい

とちおとめの栽培管理技術の確立を図るため、花芽分化後の定植時期が生育、収量に及ぼす影響を明らかにするとともに、定植時期が遅れた場合の対策として、窒素の葉面散布の効果について検討した。

## 2. 試験方法

処理は、作型、定植時期、窒素の葉面散布の有無を組み合わせた8処理区を設けた。作型は、早期夜冷及び普通夜冷とし、定植時期は、花芽分化直後及び7日後とした。窒素の葉面散布はメリット青300倍液を用いて、花芽分化後0、3、6日後の3回行った。早期夜冷は、1995年8月1日から8月29日まで夜冷処理を行い、8月29日及び9月5日に定植した。普通夜冷は、8月21日から9月8日まで夜冷処理を行い、9月8日及び9月15日に定植した。

## 3. 試験結果及び考察

- (1) 定植後の生育は、早期夜冷、普通夜冷とも定植時期が遅れると生育が劣った。葉面散布については、散布区の生育がやや優れる傾向であった。頂花房着花数は、早期夜冷、普通夜冷とも定植時期が遅れると減少したが、早期夜冷でその傾向が大きかった。また、葉面散布によって頂花房着花数が増加する傾向が見られた(表-1、2)。
- (2) 頂花房の開花始期及び収穫始期は、早期夜冷、普通夜冷とも定植時期が遅れると遅くなったが、葉面散布によってやや早まる傾向がみられた。1次腋花房では、早期夜冷の花芽分化直後の定植で開花始期及び収穫始期が遅れたが、その他の処理区では定植時期及び葉面散布の影響は判然としなかった(表-1、2)。
- (3) 収量は、早期夜冷、普通夜冷とも定植時期が遅れると、頂花房、1次腋花房及び2次腋花房の収量が低下し、特に、頂花房及び1次腋花房の収量低下が大きいことが明らかとなった。窒素の葉面散布が収量に及ぼす影響については、判然としなかった(表-3、4)。

## 4. 成果の要約

とちおとめは、作型に関わらず、定植時期が遅れると生育が劣り、収量も低下することから、花芽分化確認後、直ちに定植することが生産安定を図る上で重要と考えられた。なお、定植時期が遅れた場合の対策として窒素の葉面散布を検討したがその効果は判然としなかった。

(担当者 栃木分場 石原良行\*・稲葉幸雄) \*現普及教育課

表一 花芽分化後の定植時期と窒素の葉面散布が生育に及ぼす影響

定植時期 (分化後日数)	処理 葉面散布	葉柄長 (cm)		頂花房 着花数 (本/株)	腋芽数 (本/株)	開花始期		収穫始期			
		10/16	11/9			頂花房 (月. 日)	1次腋 (月. 日)	頂花房 (月. 日)	1次腋 (月. 日)	2次腋 (月. 日)	
早期 夜冷	0	無	7.9	12.5	17.8	1.0	10.4	11.15	11.6	12.31	2.26
	0	有	8.3	13.1	21.3	1.0	10.3	11.30	11.6	12.31	2.26
夜冷	7	無	5.3	11.9	14.8	1.1	10.12	11.12	11.10	12.26	2.26
	7	有	5.8	11.6	14.8	1.1	10.9	11.11	11.6	12.26	2.26
普通 夜冷	0	無	6.3	11.5	12.4	1.4	10.20	12.4	11.20	1.12	3.4
	0	有	6.9	12.7	12.4	1.2	10.19	12.2	11.20	1.12	3.8
夜冷	7	無	5.1	10.4	11.7	1.4	10.23	12.2	11.27	1.12	3.8
	7	有	5.0	10.3	12.5	1.3	10.21	11.29	11.24	1.12	3.8

表二 要因別の生育

定植時期 (分化後日数)	処理 葉面散布	葉柄長 (cm)		頂花房 着花数 (本/株)	腋芽数 (本/株)	開花始期		収穫始期			
		10/16	11/9			頂花房 (月. 日)	1次腋 (月. 日)	頂花房 (月. 日)	1次腋 (月. 日)	2次腋 (月. 日)	
早期 夜冷	0		8.1	12.8	19.6	1.0	10.4	11.23	11.6	12.31	2.26
	7		5.6	11.8	14.8	1.1	10.11	11.12	11.8	12.26	2.26
夜冷		無	6.6	12.2	16.3	1.1	10.8	11.18	11.8	12.29	2.26
		有	7.1	12.4	18.1	1.1	10.6	11.21	11.6	12.29	2.26
普通 夜冷	0		6.1	12.1	12.4	1.3	10.20	12.3	11.20	1.12	3.6
	7		5.1	10.4	12.1	1.4	10.22	12.1	11.26	1.12	3.8
夜冷		無	5.7	11.0	12.1	1.4	10.22	12.3	11.24	1.12	3.6
		有	6.0	11.5	12.5	1.3	10.20	12.1	11.22	1.12	3.8

表三 花芽分化後の定植時期と窒素の葉面散布が収量に及ぼす影響

定植時期 (分化後日数)	処理 葉面散布	月別可販果重 (g/株)							可販果重 (g/株)			1果重 (g)	
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	計	項	1次腋	2次腋		
早期 夜冷	0	無	125	60	121	105	137	116	664	173	235	258	15.7
	0	有	127	71	135	109	141	136	719	185	244	289	15.6
夜冷	7	無	83	80	117	68	140	134	622	134	206	281	16.7
	7	有	93	65	91	85	131	96	561	130	185	245	16.3
普通 夜冷	0	無	31	112	95	99	145	111	593	148	204	238	16.4
	0	有	37	107	98	105	126	105	578	155	203	220	16.1
夜冷	7	無	11	102	104	69	83	141	510	123	171	216	16.2
	7	有	24	95	92	76	96	123	506	124	180	202	16.0

表四 要因別の収量

定植時期 (分化後日数)	処理 葉面散布	月別可販果重 (g/株)							可販果重 (g/株)			1果重 (g)	
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	計	項	1次腋	2次腋		
早期 夜冷	0		126	66	128	107	139	126	692	179	240	274	15.7
	7		88	73	104	77	136	115	592	132	196	263	16.5
夜冷		無	104	70	119	87	139	125	643	154	221	270	16.2
		有	110	68	113	97	136	116	640	158	215	267	16.0
普通 夜冷	0		34	110	97	102	136	108	586	152	204	229	16.3
	7		18	99	98	73	90	132	508	124	176	209	16.1
夜冷		無	21	107	100	84	114	126	552	136	188	227	16.3
		有	31	101	95	91	111	114	542	140	192	211	16.1